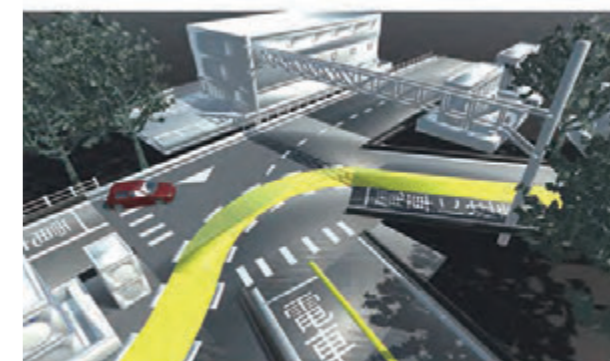
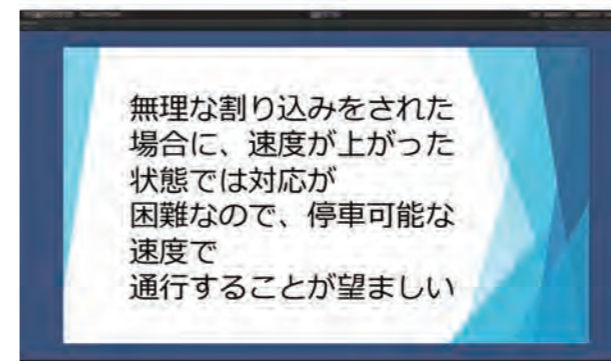
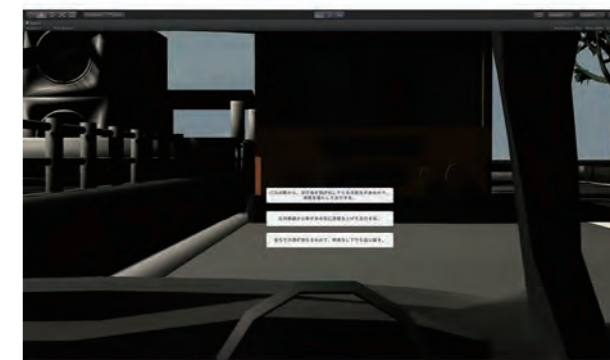


ペーパードライバーのための運転ゲームアプリケーション開発プロジェクト

プロジェクトリーダー b5p31024 太田翔馬
 モデリング (FormZ) b5p31025 大野つばさ
 モデリング (FormZ) b5p31027 尾崎祐太
 モデリング (Unity) b5p31022 及川隼風

モデリング (Unity) b5p31022 大川駿
 プログラミング b5p31024 太田翔馬
 プログラミング b5p31022 及川隼風
 プログラミング b5p31022 大川駿



プロジェクトの概要

現代では車の運転による死亡事故がニュースや新聞に掲載されることが多く存在する。事故を起こす人はペーパードライバーや高齢者の事故が大半を占めている。一方、年が若くなるほどアプリケーションやソフトウェアなどのネットワークを利用する人が増えている。これらにより、私たちはレンタカー業界に的を絞り、レンタカーを借りる人に対してソフトウェアを開発するプロジェクトを立ち上げた。ペーパードライバーが周りの状況をきちんと『認知』し、その中で危険である場所を『予測』する。それに対してどんな行動をとればいいのかを『判断』し、実際に『操作』に移せるか確認できるようにする。これらの行動を意識しながら運転することにより、事故の件数を減らすことができる。

プロジェクトの特徴

本プロジェクトの特徴は、運転に重要な「視線」である。自動車教習所での筆記試験に対策する問題には、文章での出題が多く、運転の場面の想像が難しい。だが、本プロジェクトでは運転席からの視点で、問題を解くために、文章のみの出題に比べ実際の場面を想像し易く、実際の運転にも活かしやすい。問題の解答は選択式でボタンとなっており、クリックすると、ボタンに記載されている内容に動く。また、間違えた場合には、解答を表示する設計になっている。

プロジェクトの成果と考察

本プロジェクトの成果は、第一ステージのみの完成となり、予定していた9つのステージを完成させることはできなかった。また、メンバーの「物事の見誤り」が大きな原因である。今回の開発作業にあたり、予定時間をスキルにあわせた時間設定ができていなかったこと。そして、各メンバーが詳細な作業内容の報告を怠っていたこと。そして、予定していた日から作業を開始できなかった。また、想定外の箇所が多数発見された。これらが「未完成」という結果を招いた原因である。

開発環境

Adobe Flash CS3
 FormZ(Ver7.0.0.1)
 Unity(Ver5.3.5)
 アクションカメラ (下調べ時に撮影)

成果物

作品データ (Uniry ファイル ?kb) 1点
 モデルデータ (fmz ファイル) 19点
 ポスター (A2 サイズ) 1点
 パンフレット (A5 サイズ 16 ページ) 1点